

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 援のくに

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 石川 修子(管理者)

評価完了日 平成 20 年 1 月 6 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105743		
法人名	有限会社 媛のくに		
事業所名	グループホーム媛のくに		
所在地	愛媛県松山市枝松3丁目1-23 (電話) 089-913-0192		
管理者	石川 修子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年1月21日	評価確定日	平成20年3月17日

【情報提供票より】 (平成19年12月7日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成18年3月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	11人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.6人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	35,100 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年12月7日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.5 歳	最低 56 歳	最高 97 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>畑でさつまいもやじゃがいもを収穫し、それらを使って料理を作られたり、おやつの前には、メモ帳を持って他の利用者の希望を聞き取ってくれる方もおられる。絵画が趣味の方と展覧会に出かけたり、又、利用者が描かれた絵を廊下に飾っておられた。 介護度が重度の方も週2回は、外気に触れる機会を作っておられる。又、毎月、ドライブ、外食、観光等、皆で出かける機会も作っておられる。 長い期間かけて集めた人形を飾る棚やアンティークな椅子等、個々の好みの家具等も置かれていた。コーヒータ임을ゆったりと楽しむためソファを通信販売で職員と一緒に探し購入された利用者の方は、お部屋を案内して下さった。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、取り組まれた。職員は、利用者への支援について「待つ」ことに心がけることで、利用者が車椅子から便座に移動し、排泄できるようになり、自信の回復につながったというような事例もあった。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議時、事業所の取り組みの報告をされたり、意見交換を行う中で、地域の方達の認知症に対する理解が深まってきている。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の来訪時、個別に作成されたアルバムを見ていただき、日常の様子を報告されている。又、こづかい帳の確認をしていただくようにされている。遠方のご家族には、3ヶ月に1回近況報告をされ、必要時には電話で連絡をされている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の催しに、利用者とともに積極的に参加されている。事業所主催の夏祭りには、地域の方々を招待し、交流を深めておられる。又、よく利用する公園のゴミ拾いや清掃等もされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 家庭的な環境と地域住民との交流の下で、個々の入居者様がその人らしく生活出来る為の支援を、理念の真髄としている。		理・美容院や買い物は、地域のお店を利用して地域の方たちとの交流に努めている。
			(外部評価) 地域の中で、その人らしく、当たり前の、普通の生活が送れるよう支援することを理念に掲げ、地域との交流を大切に取組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	(自己評価) ミーティング時や日々の申し送り時等には、理念を掘さげ具体的なケアに付いて話し合い、ケアの統一を図っている。		日誌に理念を記入して、共有と日々の取組みに努めている。
			(外部評価) 日誌にも理念を明示し、すべての職員が意識して取り組めるよう工夫をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取組んでいる	(自己評価) 事業所の玄関に理念を貼り出し、訪問者が直ぐ見えるようにしているが、積極的に具体的な取組みはしていない。		ホーム便りを活用したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 畑の作物を頂いたり、推進運営会議に参加していただいている。又日々の散歩や買い物時、近隣の人たちと挨拶を交わしたり、お話をしている。		事業所行事の夏祭りには、子供会さんに参加協力を得ているので、子供会さんとの交流をもっと深めていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入して、運動会や秋祭り、盆踊り等には利用者と共に積極的に参加している。又事業所の夏祭りには、地域の方や子供会さんに多数参加していただいたり、町内会の忘年会に職員が参加するなどして交流を図っている。		
			(外部評価) 町内の催しに、利用者とともに積極的に参加されている。事業所主催の夏祭りには、地域の方々を招待し、交流を深めておられる。又、よく利用する公園のゴミ拾いや清掃等もされている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成の貢献として、学生の実習を受け入れている。		事業所が積み上げている認知症に対する知識や実践経験を生かし、地域の方と一緒に勉強会を持てるようになりたい。
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員で行い、サービス内容の振り返りで質の向上に努めている。外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向けて全職員で取り組んでいる。		
			(外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、取り組まれた。職員は、利用者への支援について「待つ」ことに心がけることで、利用者が車椅子から便座に移動し、排泄できるようになり、自信の回復につながったというような事例もあった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			事業所からの活動報告や、その時点で取り組んでいる項目について説明をして、参加者から意見、質問、案をいただきケアの質の向上に反映している。又外部評価の結果を報告している。		近隣のグループホームと推進会議への行き来により、見識を深めている。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の取り組みの報告をされたり、意見交換を行う中で、地域の方達の認知症に対する理解が深まってきている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			近隣のグループホームの推進会議に参加して、事業所の実情やサービスの取り組みについて折に触れ伝えている。市職員の研修場所として事業所を活用してもらい職員や入居者様との交流を持つ。市主催の研修会に参加している。		市の社会福祉協議会に依頼して、職員や地域住民との研修の機会を持てるようにしたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターが行っている介護予防教室の協力をされている。又、地域の3グループホーム合同の勉強会を行なってはどうか、というようなアドバイスをいただき、実行されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			会や研修に参加して、利用がある場合はスムーズに支援出来るようにしている。今現在は、活用している入居者様は居ない。		施設内で勉強会を開き職員の理解を深めたり、施設外研修に参加するようにしている。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修会に参加や、職員間での勉強会やミーティング等で、高齢者虐待防止法に関する認識を深め、日々のケアの中でも虐待が見過ごされないよう、職員間で話し合っている。		言葉での虐待についても、日々のケアの中で話し合い防止に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、契約書や重要事項説明書について十分な説明を行っている。また、利用料や起こりうるリスク、重度化や看取りについて、医療連携体制の実状などについても説明し、理解納得を図っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に参加していただいて、外部の人に意見や思いを伝えられる機会を作っている。また、入居者の言葉や態度から、その思いを察する努力をし入居者の思いを職員間で話し合い、理念に添った入居者様本位の運営を心掛けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の来訪時、近況の健康状態や生活の様子を報告しているが、訪問回数の少ない家族に対しては電話や手紙で報告している。又金銭管理では、小遣い帳を見ていただき確認の上サインをもらっている。		定期的に事業所便りを発行し、訪問時には入居者様個々のアルバムを作成して見て頂いている。
			(外部評価) ご家族の来訪時、個別に作成されたアルバムを見ていただき、日常の様子を報告されている。又、こづかい帳の確認をしていただくようにされている。遠方のご家族には、3ヶ月に1回近況報告をされ、必要時には電話で連絡をされている。		事業所では、ホーム便り1号を作成された。事業所全体の取り組みがよく分かる、ご家族も楽しみになるような便りの作成を続けていかれることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 事業所の玄関に、ご家族からの意見や苦情を受ける苦情受付箱を設置している。又来訪時、職員との会話の中で、意見や希望を尋ねている。		家族が集まり、気軽に家族間で話せる機会を持ちたい。
			(外部評価) 個別に要望を聞いておられる。現在は、ご家族から意見や苦情は出されていない。		管理者は、ご家族から苦情等についても気軽に出していただけるような関係を目指しておられる。さらに、ご家族同士が集まるような機会を作ることも検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングや勉強会を行い、意見を聞くようにしている。又日頃からコミュニケーションを図り、何でも話し合える関係作りに心掛けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者様のその人らしい暮らしが、出来る限り支えられるように、入居者様の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。また、その都度必要に応じて、柔軟に職員の配置をしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 各ユニットの職員を固定化し、顔なじみの職員による入居者様の状態を良く把握した職員によるケアを心掛けている。新しい職員が入る時も、入居者様にきちんと紹介している。		職員の交代時は、引継ぎの時間を十分に取り、スムーズに移行できるようにしている。
			(外部評価) 現在、職員の離職等はほとんどなく、利用者とは馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外で開催される研修には、多くの職員が受講できるように研修内容を掲示している。また、研修報告書を全職員が閲覧できるようにしている。施設内の勉強会も行っている。		職員が自主的に勉強できるように、関係の図書を置いている。
			(外部評価) 職員は、外部研修で介護の技術や知識について研修を受けておられる。		すべての職員がスキルアップできるような仕組み作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者の会に加入して、研修会参加や相互研修を行い質の向上に取り組んでいる。また、近隣のグループホームの運営推進会議に参加や、同業者の有志で勉強会を持つ事により、サービスの質の向上を目指している。		
			(外部評価)		
			同じ地域の他事業所同士で運営推進会議に参加しあい、又、勉強会等も行ない、意見交換や交流をされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の疲労やストレスについて気を配り、勤務時間中にも気分転換できる時間を確保したり、職員同士の人間関係を把握するように努めている。		手足を伸ばし、一人になれる休憩時間や場所の確保をしたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者も頻繁に現場に来て、入居者と過ごしたり、職員個々の業務の把握をしている。また、職員が向上心を持って働けるよう職能評価や、資格習得に向けた支援を行っている。		職員の心身の健康を保つ為健康診断を年2回行っている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面談で自宅を訪問し、生活歴や現在の生活状態を把握するよう努めている。また、必ず本人に会って、お話を聞く機会を持っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族との面談の機会を持ち、家族の困っている事、求めているものを理解し、事業所としてどのような対応が出来るかを事前に話し合っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人や家族の実情や、要望を確認し、可能な限り柔軟な対応を行うようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に事業所を見てもら事から始め、職員が自宅を訪問するなどして、馴染みの関係作りをしている。 (外部評価) 入居以前から、ケアを担当されていた職員が対応する等、顔馴染みの職員が対応されている場合もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者様と職員はお互いを認め合い、季節行事や郷土料理などを、職員が入居者様から教えてもらう場面が見られる。また、悲しいことや楽しい事を共に感じ、共に支えあえる関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は、利用者から「緋のかぶら漬け」や「おせち料理」を教えていただきながら、一緒に作られたり、「巻き寿司」の巻き方等、利用者がこれまで行ってたことを教えていただけるような場面を多く作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族にしか出来ないケアがあるので、面会時などに話し合っている。又、ご家族の思いなどをお聞きしている。		面会時などには、一緒にお茶を飲まれたり散歩に行かれる方もおられる。 月一回の遠出の外出や、外食時にご家族と一緒に楽しむ、思い出作りが出来るよう声掛けをしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の本人への思い等を相談にのり、お互いに良い関係が保てるよう支援している。 ご家族に気軽に訪問して頂けるような雰囲気作りや、訪問時には、本人さんとゆっくり過ごしてもらっている。又訪問回数の少ないご家族さんには、電話で近況報告を行なっている。		入居者様が日々の会話の中で、ご家族さんの事を気遣われたり、ありがたがっている言葉を、ご家族に伝えるようにする。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) いつでも、気軽に面会が出来るような、雰囲気作りに努めている。また、こちらから職員と同伴で、馴染みの店や、お宅に出掛ける等の支援もしている。		馴染みの店での買い物の支援をしている。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) フロアーにて同じテーブルに座る方同士の考慮や、仲のいい方同士が過ごせるよう配慮している。また、孤立しないように、さりげなく交わるよう、其々配慮している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 転居先へ訪問したり、本人の健康状態等を気に掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の生活の中で、要望を聞いたり、ご家族の意見も採り入れ、希望にそうように努めている。困難な場合は、カンファレンスで検討し対応している。		入居者様の生活を、第一にしたケアに努めている。
			(外部評価)		
			ご本人とかかわる中から探ったり、ご家族から聞き取り、個々の思いの把握に努めておられる。又、思いを表しにくい方には、畑に誘う等、興味のあることを探れるよう、日々の暮らしの中で場面作り等もされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時に、ご本人やご家族にお聞きしている。また、他の事業所に居られた方は、その事業所からも情報提供をもらっている。		日々の会話の中での小さな情報も、キャッチ出来るよう努力している。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			入居前の聞き取りでの情報収集や、日々のくらし中で心身の様子を観察しながら、総合的に把握するように努めている		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人の思いやご家族の意見を聞き、主治医の意見を参考に月一回のカンファレイス時に職員の意見を出し、個々の入居者様に沿った介護計画を作成し、介護計画を自宅に送り家族で見てもらい、意見を聞くようにしている。入居者様にもプランの説明をしている。		
			(外部評価)		
			介護計画について、ご家族の来訪時に相談されたり、遠方にお住まいのご家族には、電話で意見を聞き取り、介護計画に反映されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月モニタリングを行い、身体・精神面などに変化があった場合、ご家族と連絡を取りカンファレンスを行い、随時介護計画の変更を行っている。		
			(外部評価)		
			計画内容について、毎月モニタリングを行ない、状態の変化時には、ご家族、主治医と相談し、意見をうかがいながら見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日時間を追って介護記録を行なっている。日中、夜間帯にあった事を申し送り等で情報を共有し、意見交換を行なっている。又、月一回のカンファレンス時にも情報を共有しケアの見直しに活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携の病院から、週2回医師と看護師の訪問を受け、健康管理や、異常の早期発見に努め初期状態での対応に努めている。また、ご家族の状況に応じて、通院や関係書類の作成、申請の対応も行なっている。		
			(外部評価)		
			協力医療機関の医師や看護師に週2回、健康管理をしていただいている。		個々の状態に応じて、学習療法を採り入れられたり、タクティールマッサージ等も採り入れていくことを予定されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防、避難訓練、理美容、町内会、地域行事（運動会、祭り、クリーン運動、文化祭）への参加など適時取り入れている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人の意見、必要性に応じて他のサービス事業者に入って頂き支援している。		個別での、マッサージを活用している。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に包括支援センターの方が参加して頂くようになり、関係が強化され、入居希望者の情報や周辺情報等に関する情報交換を行い、協力関係が築けている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医のほか、入居前からのかかりつけ医の医療が受けられるよう、ご家族と協力して通院介助を行う等している。また、入居者様の状態に応じ専門医受診の支援も行なっている。 (外部評価) 協力医、看護師の訪問時、何でも相談できるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の医療に熱心で、家族や職員の話をよく聞き、日常の入居者様の姿を良く把握され、適切な指示や助言をもらえる医師に受診している。また、専門的な治療の必要時は、受診の支援をしている。		提携医療機関に認知症専門医が居て、入居者様の認知症の進行状態の把握が出来るようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携の医療機関から、週単位で看護師長の往診があり、入居者様の日ごとの健康管理や医療面での相談・助言・対応を行なってもらっている。		従業員に看護師の配置が欲しい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、本人の支援方法に関する情報を医療機関に提供し、職員の見舞いを欠かさないようにしている。また、家族とも情報交換しながら、すみやかな退院支援に結び付けている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末に対する対応指針を定め、必要時には家族・医師・看護師を交えて話し合いを行なっている。また、状態の変化があるごとに、家族の気持ちの変化や本人の思いに添える支援を心がけている。 (外部評価) 終末期の過ごし方等について、利用者の状態に応じて、ご家族等と相談されている。ご家族やご本人の要望を大切にされており、終末期、ご自宅に戻られ、ご家族と過ごされた方もおられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人ご家族のご希望を伺い、ホームでの「できること・できないこと」を理解して頂き、ご本人・ご家族・主治医と連携を密にとり支援している。		入居時、ご家族様からの身取りについての、大まかなご意向を伺っている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご本人のこれまでの暮らし方、好みが続けられるよう情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			日々の申し送り時や、勉強会でプライバシーや尊厳を損なわない対応の徹底を図っている。		名前を「ちゃん」づけで呼ばないとか、幼児言葉を使用しないよう努力する。
			(外部評価)		
			紙パンツやおむつを極力、使用しなくてもすむような支援に取り組んでおられる。職員の言葉使い等について気を付けておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			ご本人の思いや希望に添うようにしているが、職員の思いで決めていることも多い。		ご本人の思いや希望を引き出せるように、職員が勉強会などで技術を磨く。
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			起床時間等は入居者様のペースに略合わせているが、基本的な一日の生活の流れがあるので、一人ひとりの思いや希望に十分な対応が出来ていない。		
			(外部評価)		
			昼食後、ご自分のお部屋で過ごされる方やリビングでゆったり過ごす方、おしゃべりを楽しまれる方等、それぞれ思いおもいに過ごされている様子がうかがえた。又、毎日、外出を希望される方にも応じておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>近所の理容店、美容室を利用し好みの髪型にしている方もいるが、特に希望のない方は店の人に任せている。衣類に付いては、好みを訴えられる方が少ないので職員がTPOに合わせて選んでいることが多い。</p>		<p>入居者様に自己決定して頂けるような環境づくりをする。</p>
54	22	<p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様個々の力や得意な分野を活かし、盛り付けや準備・後片付け等をして頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者と一緒に食材の買い物等に出かけ、利用者が食べたい食材を選ぶことができるよう支援されている。又、臨機応変にメニューも変更されている。利用者個々が持てる力に応じて、食事作りにかかわることができるよう支援されている。</p>		<p>調理の出来る方には、おこなって頂けるような環境づくりをする。</p>
55		<p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>職員とスーパー等へ行かれ、ご本人の好きな物を購入したり、行かれない方は代行で購入している。又、健康上の問題のある方は、医師と相談し許可範囲内で嗜好支援を行っている。</p>		
56		<p>(自己評価)</p> <p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄チェック表を作成し、失禁のある方も日中は布パンツにパット使用で、トイレでの排泄に努めている。失禁時も入居者様の気持ちに寄り添いスムーズに対応している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			声掛けにより入居者様の希望に添っているが基本的には隔日入浴を実施している。又、夜間は人員の都合で対応できない時が多い。		好みの入浴剤を選んでもう。又、季節的にはゆず湯や菖蒲湯を楽しんでもらっている。
			(外部評価)		
			1番風呂の希望者が多く、皆で相談し順番を決めておられる。利用者個々が納得し、入浴できるよう支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			希望により、居室に畳・ソファ・椅子や、フローアにホーム炬燵を取り入れ、心地よく休息や安眠ができる環境づくりをしている。又、寝付けない時には添い寝や、温かい飲み物で気分を和らげている。		寝付けない方には、就寝前に足浴の支援をする。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事の盛り付け、畑仕事、庭の手入れなど経験をふまえてもらっている。個別の楽しみは、十分に把握できていない。		もっとコミュニケーションとり入居者様個々の役割や楽しみをより多く見つける。
			(外部評価)		
			畑でさつまいもやじゃがいもを収穫し、それらを使って料理を作られたり、おやつの前には、メモ帳を持って他の利用者の希望を聞き取ってくれる方もおられる。絵画が趣味の方と展覧会に出かけたり、又、利用者が描かれた絵を廊下に飾っておられた。		今後、「抹茶くらぶ」を作り、月2回程度、お茶菓子で四季を感じる等、楽しみを増やしていきたいと計画されていた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			小額のお金はご自分で管理している人も居るが、ほとんどの方が持っておられず、ホームで管理している。買物の希望があれば、何時でも使えるようにしている。		お金を持つ、支払う機会を作る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天候や入居者様の気分や希望に応じて、日々の散歩・買物・ドライブ等に出席している。また、裏庭の芝生でお茶の時間を楽しんだり、季節感を肌で感じてもらっている。		日々の業務を効率よくこなし、時間を作る工夫をしたい。
			(外部評価)		
			介護度重度の方も週2回は、外気に触れる機会を作っておられる。日常的には、買い物や公園への散歩を楽しまれている。又、毎月、ドライブ、外食、観光等、皆で出かける機会も作っておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			希望があれば、デパートへのショッピングや夜間の演奏会に出掛ける等個別に対応している。また、月一回以上の皆での外出を実行している。		家族との思い出作りの為、家族同伴のお出掛けなどを企画したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			入居者様からの申し出があれば、何時でも行なっているが、あまり要望は無いし、こちら側からも特に働きかけは行っていない。		手紙が届いた時などは、返事(自筆、代筆)の支援をする。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時には、居室にテーブルや椅子を持って行き、お茶を出したりして、ゆっくりして頂けるようにしている。時間も特に決めず、いつでも訪問して頂けるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束にあたらないうが、常に意識して日々のケアを行なうようにしている。		申し送りやミーティング時などに、ケアを振り返り自覚しない身体拘束が行なわれていないか話し合っている。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関を施錠せず、夜間のみ施錠している。 (外部評価) 玄関には、鍵はかけず、センサーが設置されており、鳥のさえずりが鳴り、人の出入りが分かるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者様と同じ空間で記録などの業務を行い、さりげなく状況を把握出来るよう努めている。夜間は2時間ごとに入居者様の様子を確認するとともに起きられた時すぐに対応出来るようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 居室にあるご本人の物は、入居者様の状況にあわせて管理しているが、薬、洗剤等は一律に手の届かない、目の届かない所に保管し管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 転倒や誤薬等の危険を予測し服薬確認表や環境整備等で工夫している。又、発生した場合でも、事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について職員間で話し合い、事故を食い止めるよう工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回定期的に消防職員による応急手当訓練をおこなっている。また、疾患の内容により個別の救急対応マニュアルを作成し、経過ファイルに綴ってある。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を経て、避難訓練、避難経路の確認、消火器の使用法等を定期的に(年2回)を実施している。運営推進会議で地域の方へ協力をお願いしている。 (外部評価) 年2回の避難訓練に加えて、救命救急訓練も行っておられる。いざという時には、ご近所の方に協力いただけるようお願いをされている。		今後地域の方へ避難訓練への参加を働きかける。 災害時等、地域の方達と協力し合えるような体制を作っていくための工夫が期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居前事故発生の可能性がある事を十分説明し理解を得て、その上で個々に合わせた対応を行なっている。また、状況に変化があればその都度ご家族に説明し話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行い、異常の早期発見に努めている。また、異変時にはバイタルチェックを行い、主治医に相談し状況により受診を行なっている。また経過記録、申し送りノートに記入し、全員が把握するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬袋の名前を確認し、ひとりひとりに手渡し服薬するまで付き添っている。副作用があることは理解しているが内容までは全員は理解していない。		服薬管理表を作成し、服薬の忘れが無いように手渡した職員の名前を記入している。薬の内容について周知できるように方法を検討していく。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維を含む食材での調理、乳製品を毎日摂取、水分摂取量の把握に努め、不足時は声掛けや支援により目標量の摂取に努めている。		便通を助けるような動きや運動の支援をする。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 起床時及び食事後の歯磨きやうがいの声掛けを行ない、力に応じて見守ったり、介助を行なっている。また、義歯使用者の方は、週一回のポリデントの実施を行なっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分摂取量を毎日記録し職員が情報を共有し定期的に水分摂取を行なっている。不足時は代替食(プリン・ゼリー・エンシュア等)で対応している。 (外部評価) いりこや昆布でだしを取り、旬の食材や畑の野菜等、いろいろな野菜を豊富に摂取できるよう努めておられる。利用者の希望で居室に水を用意されている方もあった。		塩分の多いだしの素は使用せず、昆布、いりこでだしを採り汁物のみでなく煮物にも使用している。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗いとうがいの実施。ペーパータオルの使用。尿、便汚染したものには、ハイター等で消毒・漂白をする。食事時のテーブルはアルコールで拭く。入居者様、職員のインフルエンザ予防接種実施。感染症マニュアル作成。一日4回以上のビュウラックスでのトイレの掃除・消毒をする。・・・以上の徹底を行なっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生ものは買い置きせずその都度購入する。食器乾燥機使用で細菌の繁殖を防ぐよう努めている。ふきん、まな板は毎日漂白、消毒実施。</p>		<p>食材に応じた保管をしている</p>
(1)居心地のよい環境づくり					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ガラス張りで内外から様子がわかるように工夫されている。玄関先には、花壇を作り四季の花々を植え、ベンチを設置し近所の方たちにも利用してもらっている。</p>		<p>季節の花が途切れないよう花壇作りを心がける。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には長椅子を設置し、居間兼食堂には七夕飾りやクリスマスツリーなどの季節の飾り物や季節の花木を生けてくつろげる空間作りを行なっている。その他、もちつきやお節料理作り、ご飯の炊ける匂いや調理の音がフローアにいても感じる事ができ、生活感や季節感が味わえる。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者が車椅子で移動しやすいように、家具の配置等も配慮されていた。窓辺には、季節の花のプランターが配置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファの設置や畳の間を設置しており、入居者様それぞれ思い思いの場所で過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)			
			入居時ご本人ご家族相談して、入居者様が使い慣れた馴染みの仏壇・箆笥・椅子等を使っている。			馴染みの物がない方は、入居者様やご家族と相談の上、入居後の居心地の良い居室作りを支援していく。
			(外部評価)			
			長い期間かけて集めた人形を飾る棚やアンティークな椅子等、個々の好みの家具等も置かれていた。コーヒータ임을ゆったりと楽しむためソファを通信販売で職員と一緒に探し購入された利用者の方は、お部屋を案内して下さった。			
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)			
			一日一回は換気を行なう。居室に温度計、湿度計を設置し、体調や気温に応じた温湿度調節を行なっている。トイレは悪臭がしないようにこまめに汚物を処理している。また、悪臭が強い時は消臭剤を使用している。			換気や温度調節の実施をしている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)			
			床は段差がなく、廊下、トイレ、脱衣所、浴室の壁には手すりを取り付けている。廊下は、車椅子が離合できる幅が確保されている。車椅子の方でも1階2階間の移動が容易なようにエレベーターの設置をしている。			
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)			
			居室の扉に表札をかけ、トイレ、浴室の表示を名記している。また、居室の扉にその人の持ち物で自分の部屋がすぐ分かるように工夫することもある。			認知力の弱い入居者様には同じトイレの誘導や食卓椅子には馴染みの座布団を利用するなどして場所の混乱を防ぐ。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
			裏庭で食事をしたり、おやつを食べたりしている。畑を作り、収穫祭を楽しむこともある。			

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいの	入居者様全員の意向や願いを把握しきれてない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある	お茶の時間は一緒にテーブルにつき、話をしながらゆったり過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	起床は入居者様のペースに合わせており、入浴、食事等希望に添った対応を行なっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが	持たれている疾患や生活歴等々だが、その時々への対応や声掛けで笑顔を見せてくださる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが	出来る限り希望に添いたい、時間や人員の都合で出来ない時が多い。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	週1回の医師の往診、看護師の訪問等があり、心身の不安を相談できる。また、異常時は何時でも医師に連絡し指示を受けている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が	日々の体調や気分を把握し、柔軟な対応ができるよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと	ご家族の訪問時、話し合いの機会を持ったり、訪問の少ないご家族にはこちらから手紙や電話を掛け信頼関係が築けるように努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度	訪問に規制はなく、ご家族や友人の訪問が定期的にある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	地域行事や催し物に誘って頂いたり、ホームのゴミも地域の方と同じように、家庭ごみとしての搬出を認めてもらっている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	職員間のコミュニケーションも取れており、笑顔も多く見られる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	日々入居者様の体調や希望に添ったサービスを行なっているが、全員が満足できる思いや願いを掴みきれていない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションも概ね取れており、常に要望を聞くようにしているが、特に苦情的なものも無い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

何事も入居者様の立場に立って、ケアを行なっている。系列に特別養護老人施設が有り、大きなイベント時に参加して楽しんでいる。2月から学習療法(公文)を本格的に取り入れ、認知機能の維持、改善を図っていく。